

たらい舟（タブボート）

たらい舟（タブボート）は小さな円形の船です。日本の伝統的な風呂桶に似ていることからその名前が付けられました。これらの船は浅瀬に最適で、最大2人の乗客と1人の船頭が乗船できます。船頭は櫂を左右に漕ぐ動きでこの乗り物を操作します。たらい舟は寿司用の酢飯を作るのに使われる木製の容器「飯切り」に似ていることから、「はんぎり」船とも呼ばれます。たらい舟は伝統的に杉の木か竹で作られており、その独特な形と軽い素材のため、正確に操作しないと簡単に転覆してしまいます。この船は昔から貝漁に使われていました。漁師は船から手を伸ばして水面にガラスの箱を置くことで、真下にいる貝類をはっきりと目視していました。その独特な形は、税金に由来しているのかもしれませんが。全ての船には税金が課されますが、たらい舟は通常の船とは形が異なるため、税金がかかりませんでした。

訪問者は宿根木、矢島・経島、小木の力屋観光汽船でたらい舟に乗ることができます。この3つの場所は非常に異なる環境を提供しています。宿根木のたらい舟は木で作られていて、3つの中では最も正統派です。隣り合った矢島と経島での乗船体験は、2つの島をつなぐ朱色の橋の荘厳な眺めが特徴です。最も人気のある体験は、力屋観光汽船のもてなしによってもたらされます。この旅行会社の女性船頭は伝統的な衣装と顔を覆う麦わら帽を身に着け、風や波から守られた広い入り江の中を船で案内してくれます。たらい舟への乗船は、宿根木と矢島・経島で3月～11月、力屋では一年中可能です。